



杉並区立 杉森中学校
学校だより 第313号
平成23年7月20日
平成23年度 第4号

「今、私たちに求められているもの」

校長 大橋 亮介

70日間の1学期が、今日で終わった。今年度は、私たちが今までに経験したことのない東日本大震災の甚大な被害の中、1学期が始まった。被災地の復興のニュースを聞きながら、今もなお、行方不明者の方々が多数いる中で、避難生活をしている方々も大勢いることに心が痛みます。

東京都教育委員会は、7月から9月にかけて、「“がんばろう 日本” 節電アクション月間」として消費電力の15%の節電を呼び掛けている。杉並区としても節電目標を掲げ、本校も可能な限りの節電に取り組んでいる。

私が中学生の頃、原油を輸入に頼っていた日本に第1次オイルショックという時代があった。その時は、銀座や新宿の照明なども消され、テレビ、ラジオの深夜放送も中止になり、火力発電の重油消費を抑えるために、大々的な節電対策がとられた。原因と事情に違いはあるが、あの当時と同じことを繰り返しているような気がする。もし、このオイルショック以来、日本中で節電を地道にしていたら、今はどうなっていたのだろうか。私自身反省を含め考えることは、様々な電気製品など便利な道具が出るとついつい使ってしまう。昔に比べ、格段に製品自体の消費電力は小さくなっているが、電気を消費することには変わらない。必要最小限の電気製品を使い、無駄な電気を消費しないことが大切である。

人は、危機を乗り越え安定した日々になると、過去の危機や苦労を思い出とするが、乗り越えた時と同じような生活をしようとしなくなってしまう。今までの苦労や努力から解放される喜びも当然である。しかし、いつの時代もエネルギー消費に関しては、これからの地球のために、少しでもエネルギーの無駄遣いをしないようにしなければならない。

今はまず、被災地の復興・被災者の生活安定のために、みんなの心を一つにして、節電に取り組まなければならない。

今年の夏も、猛暑が予想される。節電は、日本全体で取り組まなければならない。みんなの力で震災を乗り越え、被災地の1日でも早い復興を支援することが使命である。

忘れてはいけない。中学生が社会人になった時、2011年3月11日に東北地方で大震災が起き、甚大な被害と電力不足になったこと。そして、みんなが協力し合い、思いを一つにすることの大切さを学んだこと。そして、電気だけでなく、すべてのエネルギーを無駄にしないこと。

私たちは、大震災というとても厳しい現実直面し、そこで学んだ教訓を忘れることなく、これからの未来に引き継ぎ、途切れることなく実践していくことが重要である。今、私たちに求められているものは、これからの未来を考えた行動である。

～ 7月の活動アルバム ～



【 中学生レスキュー隊 】 7 / 2 (土)

発足式及び第一回合同訓練が、阿佐ヶ谷中学校で行われました。

D級ポンプによる放水訓練、AED操作と心肺蘇生法、担架がないときの傷病人搬送法を習いました。本校隊員たちも積極的に活動していました。

【 職場体験 】 7 / 4 (月) ～ 8 (金)

7月4日から1週間、2年生が次の3つのねらいをもって職場体験を実施しました。

- ①自分の将来を真剣に考える
- ②働くとはどんなことかを感じる
- ③大人の生き方に触れる

少しでも生徒が主体的に取り組めるように、今年度は体験先を探す所から生徒が行いました。

最終的に45の事業所に承諾いただき、生徒にとって有意義な体験となりました。事後学習として、新聞を作成します。

また、3学期の作品展でも掲示する予定です。(担当 金子 敏治)

【 1年 コミュニケーション授業 】 7 / 8 (金)

スクールカウンセラー 光延京子先生によるコミュニケーション授業が各学級で行われました。

(2・3年生：2学期に予定)

【 杉一小こども盆おどり 】 7 / 9 (土)

美術部が制作した12枚の力作ポスターに彩られた「杉一小 こども盆おどり」。

準備、巡回、アナウンスから片付けまで、総勢34名がスタッフとして参加しました。きちんと仕事をこなす合間に、皆、楽しそうに踊っていました。

〈 9月の予定 〉

- 1 (木) 始業式・全校美化
- 12 (月) コミュニケーション授業 (2年)
- 13 (火) 移動教室 (1年) (始)
- 14 (水) 移動教室 (1年) (終)
- 修学旅行説明会 (3年)

- 15 (木) 学校公開 (始)
- 17 (土) 学校説明会
- 21 (水) 生徒会役員選挙
- 22 (木) 学校公開 (終)
- 28 (水) ～ 30 (金) 修学旅行 (3年)